

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論) (生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

講 師： 大阪大学大学院歯学研究科
顎口腔病因病態制御学講座 口腔病理学教室
教授 豊澤 悟 先生

演 題： 「Fibrous dysplasia の分子病態と病理診断」

日 時： 平成 27 年 2 月 4 日 (水) 18 時 30 分～19 時 30 分

場 所： 歯学科第一講義室 (7 号館 1 階)

要 旨：

Fibrous dysplasia (FD) は、全身骨格に発生するが顔面頭蓋骨に好発し、歯科に関連の深い良性骨病変である。有病率は人口 10 万人当たり 3～30 人と推定される。その発症は発生段階に生じた GNAS 遺伝子の体細胞変異に起因し、FD 患者はモザイクである。FD 病変は GNAS 遺伝子変異のある骨髄間質細胞からなり、変異細胞では促進性 G 蛋白質 α サブユニットの構成的活性が起こっている。本講義では、多彩な臨床症状を伴う FD の病態を分子メカニズムと病理診断の観点から概説する。

【連絡先】 口腔病理学分野 山口 朗 (内線 5451)